

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センタークオランビーノ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		～ 2026年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちが楽しんで利用できる環境づくりを行っています。	・療育のプログラムが固定化しないように工夫しています。子どもたちが楽しんで、さまざまなことを経験できるような遊びを提供しています。	・体育館や公園等の園外活動を定期的に取り入れ、遊びの幅をひろげていきます。
2	・専門性を持つ職員が子どもたちの支援に関わる体制作りを行っています。	・多様な専門的な視点による支援を実施することができます。指導員は児童指導員、保育士、小中教諭、専門職は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を配置していることで複数名ずつ子どもたちの支援に関わることができる体制作りに取り組んでいます。	・研修等で専門職員の助言を活かすことで子どもたちの理解を深め、より支援の質を高めることができるよう取り組みます。
3	・気軽に相談できる環境を整えています。	・相談の要望には即座に対応しています。様々な資格を持つ職員がいるので専門的な支援を行っています。保護者の抱える問題や不安を解決できるようにしています。	・気兼ねなく相談できる雰囲気作りを心掛けています。相談に即座に対応できるように相談場所や時間の確保をします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・長期休暇期間や土曜日の学期中の療育時間の延長を含めたサービスの提供時間が短いこと。	・サービス提供に際しての人員不足の課題と考えています。 ・児童発達支援事業と併設であるため、午前中に活動に使用できる部屋の確保が困難です。	・活動を行う部屋、職員配置の確保を課題として検討していきます。
2	・送迎サービスの充実。	・利用者が広範囲の地域から利用しているため、各学校等への利用者への送迎対応が難しく課題に感じています。	・職員配置、送迎車の確保を課題として検討していきます。
3	・保護者会や、ペアレントトレーニング等、保護者参加の機会を設けること。	・保護者会の必要性や要望等を考慮し検討しなければならないと考えているが実際検討に至っていない。	・保護者に参加していただける場やどのような形で開催できるかを検討していきます。